

R. I. District2610, ROTARY CLUB OB UOZU

## 魚津ロータリークラブ会報誌

2011-2012年度 RI会長 カルヤン・バネルジー  
2011-2012年度 魚津RC会長 寺崎 明博



2012-2-3

### 第2811回 例会報告

- (1) 点鐘
- (2) 君が代斉唱
- (3) ロータリーソング 「奉仕の理想」
- (4) 四つのテスト唱和
- (5) ゲスト並びにビジターの紹介
- (6) 誕生祝



2月14日 坪井孝博夫人さん

いつもありがとうございます。妻の佳代子にはいつも感謝しております。9時半～6時まで昼休みもほとんどなく働いてくれています。したがって僕は夜、ほとんど家事と子供の世話です。これからも二人でがんばっていきます。

- (7) 会長挨拶 寺崎 明博さん



皆さんこんにちは。昨晩は大変な雪降りでしたが、明日の立春を前にしてすっかり晴れ大変気持ちの良い天気になりました。私は山に住んでおりますが子供の頃から記憶にないほどの大雪になっております。私の家では積雪が2mを越えております。2mと言いますとだいたい玄関が隠れる程の雪ですから皆さん想像してください。

日本の国も毎日大雪の報道を行っていますが、昨夜国際奉仕委員会があり韓国の話をしていたので今朝パソコンで韓国を見てみますと、ソウルや仁川ではマイナス20度前後の寒さで50年以來の寒さになっているそうです。この辺りではマイナス3度4度で大変なことのようになっておりますがマイナス20度とはどんな寒さか想像もつきません。いずれにしても足を滑らせて怪我をしたり風邪をひかないように気をつけましょう。

- (8) 幹事報告

- ・加賀百万石RCより 地区大会のDVDが届いています。
- ・黒部市カラーレより ワールドフェスティバルのご案内が届いています

- (9) 出席報告

- ・本日の出席 28名 欠席者 7名 出席率 80% メークアップ済み 吉森さん
- ・2809回の出席率はメークアップは広浜、愛宕、池上さんで68.57%⇒74.28%

- (10) 委員会報告

- ・国際奉仕委員会（武隈R友情交換委員長より）

先日委員会を開催しました。釜山釜一RCの20周年が4月にあり7～9日に行きたいと思えます。式典は8日土曜日です。25名以上参加してほしいということですのでよろしくお願ひ致します。航空運賃は5万8千円～6万1千円程だそうです。朴さんからのレターと日程を皆さんのところへFAX入れます。

- ・親睦委員会（池上委員長より）

来週の例会は夜間例会でその後ボウリング大会です。予定より少ないので家族だけの参加でも結構ですので申し込んでください。また23日に恒例の熊な&イノシシを食べる会を開催します

- ・地区IACより（野澤委員より）

先週の土曜に地区新旧役員懇談会に出席してきました。5日には第5回全国ライラ研究会に行きます

(11) 本日の卓話 杉野君



先日、平崎さんから今日卓話をするように言われました。普通15分のところ30分話してほしいという事でさせていただきます。

この年齢になると子供の頃の話が多くなります。

私は昭和20年8月に魚津に参りました。戦争で父の郷里であった魚津に疎開ということで来ました。なので戦争がなければおそらく魚津に来る事はなかった

と思います。以来66年魚津にお世話になっております。本当に皆さんのおかげだと思っています。66年という大変な年月に聞こえますが、私にとってはそう長い昔でもなさそうに思っております。魚津に来てよかったかどうかと考えることがあるのですが、先だって谷口さんと一緒に東大阪にあるある工場へ行ってきました。昔はあの辺は工場なんかなかったのですが今では地下鉄まで通っていました。その工場はボーイングの部品等も造っておられる小さな工場でした。あの環境を見ますと拡張の余地もなく、そういうことから見ますと私も魚津へ来て今日あるのも地面があり、人がおり、このような立派な環境で仕事ができることが大変プラスになっておるんじゃないかと思って感謝しております。子供はよそへ出ておりますので、私どもが死んだ後果たしてこの魚津に御縁があるのかと思うと少し寂しく思っております。私の産まれは大正15年(1926年)で85歳になりました。当時のことを親からよく聞いていましたが、日本は非常に貧乏だったと聞いています。昭和の大恐慌、米騒動などがありまして、当時の寺内内閣が総辞職したという大きな社会問題にもなりました。その後大正12年関東大震災がありまして、東京で10万人の人が焼け死んだということです。調べてみたらその時のマグニチュードが7.9だそうです。当時は紙と木で出来た家がほとんどだったので、焼け死んだ人が多かったと父親から聞いております。その後、昭和3年の大恐慌と言われる神戸の鈴木商店が焼き討ちにあったとか銀行のとりつけ騒ぎがあった等と聞かされておりました。

また、南米への移民船がありブラジル丸・アルゼンチン丸というのがありました。

今でこそ日本人は尊敬されていますが、当時は大変な時代でいわゆる移民の1世の方々は大変苦勞されたとテレビでも言われています。「くちべらし」と言いますか人身売買等がたくさんありました。私の子供の頃の記憶に「えんとつ男」というのがありまして、言わゆるストライキです。えんとつに登って降りてこなくて要求を出しているわけです。それが新聞等に出るため企業は恥ずかしくて仕方なく要求をのむというものでした。今の不景気と比べものにならない程厳しい状況でした。

家にもいろんなものを売りにきました。それと、私が一番待ち焦がれていたものは紙芝居でした。

自転車の後ろに紙芝居を乗せて1日2~3人同じ場所で行われていました。

あとは、病気です。当時は今のガン以上に怖かったのが結核です。どこかの家の子が結核になった場合その家の前を口を抑えて走ったものです。潜伏期間が1年もあるのです。かかると順番に死んでいくといったもので、しかも働き盛りの若者がよくかかるというので大変恐ろしい病気でした。

そういうこともありまして、あの時代は失業者が大変多かったです。

私の家の前に大きな道路ができました。その道路は失業救済のための道路ということで、どかたの人がたくさん日雇いで働いていました。

先ほど話しました、ストライキに対しても日本の官憲が大変厳しく絶対認めないというような時代でした。それも「シナ事変(今で言う日中戦争)」があった昭和12~3年頃にはそのような人もほとんどいなくなりました。1940年(昭和15年)あたりが今思えば一番日本が張り切っていたいい時代だったのではないかと思います。当時この辺にも日本カーバイドさんの記念社宅というのがあったと思いますが、おそらく2600年を記念して建てたのではないかと私は推測しております。

なんでも“記念”をつけていた年でした。

余談ですが、ゼロ戦という戦闘機も2600年の0をつけてゼロになっています。

今度就航しました、ボーイング787とエアバスA380という本を見てますとエアバスなんかはドイツで造り、フランスで造って、スペインで造ったものを陸路や空輸である一定の場所に集めて飛行機を造っているという時代です。船もバラバラで造っています。今は大変合理化されています。色々話をしましたが、だいたい時間がきたので終わらせていただきます。